

2025 年 1 月 30 日

大阪大学 ELSI センターに 「メルカリ R4D ラボ・大阪大学協働研究所」を設立

人文社会科学の視点から「あらゆる価値が循環する社会」の実現へ

❖ 概要

国立大学法人大阪大学（以下、大阪大学）と株式会社メルカリ（以下、メルカリ）は、2025 年 7 月 1 日に、大阪大学社会技術共創研究センター（以下、大阪大学 ELSI センター）に「メルカリ R4D ラボ・大阪大学協働研究所」（以下、本研究所）を設立します。**2025 年 1 月現在、24 の協働研究所が大阪大学内に設置されていますが、人文社会科学系の協働研究所の設置は初めてです。**

人文社会科学の知見を通じて、メルカリのミッションでもある「あらゆる価値が循環する社会」への道筋を描くことを目指します。また、メルカリをフィールドワークの場として、企業活動から導かれる様々なテーマを対象にした研究を行い、得られた知見を学術的な成果として広く社会へ還元していきます。

❖ 「メルカリ R4D ラボ・大阪大学協働研究所」設立の背景

昨今、生成 AI・LLM に代表される新たな科学技術の台頭・劇的な進歩により、それらが社会にもたらす影響の予測不可能性は拡大し続けています。これに伴い、社会実装の段階において、技術的な観点のみならず、社会実装後に予期される課題やインパクトについて検証する必要性が高まっています。倫理学や法学、社会学、哲学といった人文社会科学の多様な視点を織り交ぜながら、企業側が責任を持って企業活動やサービス開発を検証していくことが重要です。

メルカリR4Dラボ・大阪大学協働研究所

大阪大学
社会技術共創研究センター
ELSIセンターmercari
R4D

大阪大学 ELSI センターは、2020 年よりメルカリの研究開発組織「mercari R4D（アールフォーディー）」と、研究活動や企業活動を対象とした ELSI（ELSI: Ethical, Legal and Social Issues: 倫理的、法的、社会的課題）に関する共同研究を進めています※1。メルカリにおける研究開発倫理審査の高度化※2 や、AI 倫理※3、男女間賃金格差是正の取り組みに関するケーススタディ※4 など、人文社会科学分野の研究開発を行ってきました。

この度、「メルカリ R4D ラボ・大阪大学協働研究所」では、これまでの研究をさらに発展させ、人文社会科学の知見を通じて、メルカリのミッションでもある「あらゆる価値が循環する社会」への道筋を描くことを目指します。また、メルカリをフィールドワークの場として、企業活動から導かれる様々なテーマを対象にした研究を行い、得られた知見を学術的な成果として広く社会へ還元していきます。

※1：大阪大学 ELSI センターウェブサイト内 共創研究プロジェクト「企業における研究倫理審査や人材育成等の実践的方法論の構築」のページ

<https://elsi.osaka-u.ac.jp/research/1028>

※2：メルカリによるプレスリリース（2021年6月30日）「メルカリ、大阪大学 ELSI センターとの共同研究に基づき策定した独自の研究開発倫理指針を公開」

https://about.mercari.com/press/news/articles/20210630_elsi/

※3：mercari R4D のウェブサイト内 mercari R4D の ELSI 研究成果、「LLM を用いたプロダクト開発をスピーディーに行うためのガイドライン」を一般公開

<https://r4d.mercari.com/news/LLM-guideline/>

※4：ELSI NOTE「人事データ分析を利用した男女間賃金格差是正の取組み：株式会社メルカリにおけるケーススタディ」

<https://elsi.osaka-u.ac.jp/research/2628>

❖ 「メルカリ R4D ラボ・大阪大学協働研究所」概要

【概要】

名称：メルカリ R4D ラボ・大阪大学協働研究所

所在地：大阪府吹田市山田丘 2-8（大阪大学吹田キャンパス内）

所長：岸本 充生（大阪大学社会技術共創研究センター 教授）

副所長：多湖 真琴（株式会社メルカリ mercari R4D Director／大阪大学社会技術共創研究センター 招へい教員（予定））、赤坂 亮太（大阪大学社会技術共創研究センター 准教授）

【ビジョン】

「人文社会科学の知見を通じて、あらゆる価値が循環する社会への道を示す」

【研究内容（例）】

1) 価値循環社会に関する基盤研究

- ・価値や循環、価値循環に関する根源的な問いと概念の再構築
- ・価値循環学の構築

2) 企業活動における実践研究

- ・研究倫理審査の高度化や新規科学技術・サービスの ELSI、研修・教育プログラムの作成など

3) 研究成果を通じた社会的インパクトの実現

- ・アウトリーチ活動の実践、およびアウトリーチ活動自体の研究
- ・産学連携や企業研究所のあり方の研究
- ・大阪大学内の連携、さらには他大学や他企業、自治体等へと射程を広げた研究パートナーの開拓と拡大

❖ 大阪大学 社会技術共創研究センター（ELSI センター）について

新規科学技術の倫理的・法的・社会的課題（ELSI: Ethical, Legal and Social Issues）に関する総合的かつ学際的な研究・実践組織として、2020年4月に発足しました。新規科学技術の研究開発や社会実装において顕在化しうる ELSI を早期に見出し、研究開発と並行して ELSI に取り組んでいくという、新しいイノベーションのモデルを確立することを目指しています。

<https://elsi.osaka-u.ac.jp/>



❖ 大阪大学 協働研究所について

企業等から資金や研究者を受け入れて大阪大学内に研究拠点を設置し、共同研究を行う制度です。大阪大学内に独立した研究拠点を設けることにより、大阪大学の研究者と協議しながらより柔軟かつ迅速に研究を推進することができます。

大阪大学の複数の部局との多面的な共同研究を行うこと、ポスドクや大学院生を参加させることにより、研究の推進と同時に若手研究者の人材育成を図ることも目的としています。

また、大阪大学との共同研究につながる自主研究や、共同研究成果を活用するための自主研究を行うことも可能です。さらに、企業等から派遣され本学の教員・研究者として雇用された方の発明は、企業等に帰属することとしています。

2024 年 10 月現在、24 の協働研究所が大阪大学内に設置されており、人文社会科学系の協働研究所の設置は初めてです。

https://www.ccb.osaka-u.ac.jp/service/soshiki_kyodo_kenkyujo/#p001